

## 導入事例 株式会社 吉岡精工

# 卓越した技術で、オーダーメイドにも対応可能な、 ポーラスチャック、ダイシングソー用精密部品、 金属加工部品をグローバル品質でお客様に提供

社内で構築した計測システムのマーキングを効率的にわかりやすく表示することを実現

1961年東京都大田区にて吉岡製作所として創業。自動車エンジンバルブ用金型の製作や、半導体業界で使用されるダイシングソー部品の製作を行う。2002年に本社・工場を現在の横浜市鶴見区に移転。現在では、ポーラスチャック\*も主力製品の1つとなっている。それぞれ、多品種小ロットに対応できることが強みで、お客様のオーダーに合わせ、製図からミクロン単位の加工・製造、さらには、検査部門による厳しいチェックを行い納品する、徹底したお客様視点の対応フローを構築している。

\*ポーラスチャックとは：ミクロン単位のポーラス（多孔質）構造により、極薄な対象物も変形させることなく吸着固定させることができるプロダクト。半導体製造装置や、各種検査装置などに組み込まれる。



ポーラスチャック

ダイシングソー用精密部品

金属加工部品

### Client Profile



株式会社 吉岡精工

製造業

従業員数:23名

所在地 : 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-49  
 設立 : 昭和46年4月10日(昭和36年1月創業)  
 資本金 : 3,000万円  
 事業内容: ●真空吸着テーブル「ポーラスチャック」の設計製作  
 ●ダイシングソー用チャックテーブル、フランジの製造  
 ●その他、各種精密部品の設計・製造・販売



本社ビル

## 01 導入背景

社内の機械設備の稼働状況を把握する取り組みがきっかけ

機械設備を効率的に動かしているつもりでも、稼働していない機械の電源が入ったままだったり、複数の作業行程を効率的に動かせていなかったりと、作業現場においていくつか課題がありました。そこで、社内で使用している20台ほどの機械の稼働状況を一目でわかるように可視化する取り組みを2020年頃から開始しました。

まずは、それぞれの稼働状況の収集方法を考えるところからスタートしました。電気系統は本業ではないので、試行錯誤しながら、ノウハウを蓄積していき、現在では、20台ほどの稼働状況を、可視化し、誰が見ても把握できるように、モニターで表示させています。



各機械の情報を収集  
(枠内は社内で製作した人感センサー装置)



全機械の状況をモニターで一覧表示

## 02 選 定 理 由

### チューブに効率よく印刷でき、消えないマーキングをしたかった

システムを構築し始めの頃は、チューブに油性マジックを使って手書きでマーキングをしていました。ただ、製作現場としては、油分が少ない方とは言え、時間が経つにつれ、文字がかすれてきてしまい、何か方法はないかと調べた末、キヤノンのプリンターMK3000に辿り着きました。汎用チューブが使用できるのも決め手の1つでした。

必要な時にいつでも手軽に印刷できて役立っています。

正直もっと早く導入できれば良かったのですが、決して安くはないプリンターなので、これからも長く使っていきたいと思います。



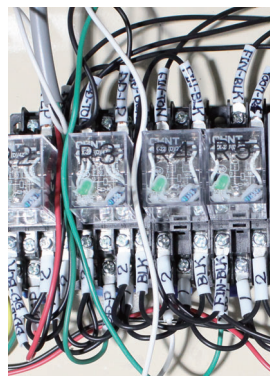
## 03 導 入 の 効 果

### 効率的にチューブに印刷ができ、見た目もきれいで、今後の製品開発にも役立ちそうです

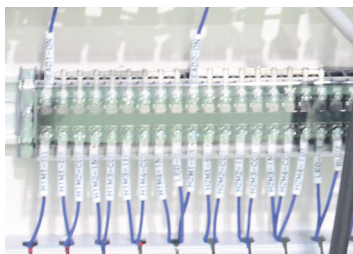
きれいに印字ができ、こすっても消えないので、正直驚きました。これまで手書きで記入していた作業が数分の1に短縮でき、役立っています。

また、何よりも仕上がりがきれいなので、社内で使用するシステムとは言え、誰にでもわかる表示ができ、業務の引継ぎもスムーズに行えそうです。

今回のシステム構築をきっかけに、稼働データの収集ノウハウが蓄積できたのと、見た目良くマーキングできる術を入手できたので、社内装置の整備をさらにすすめていきたいと思います。



プリンター導入前



プリンター導入後



作業現場で印字

## 04 今 後 の 展 望

### 主力製品の1つであるポラスチャックのヒーター内蔵製品にも役立てたい

ポラスチャックにヒーターを内蔵するタイプの製品も取り扱っています。お客様のご要望により、ヒーターの温度や配線をカスタマイズするので、今後は、MK3000で印字したチューブで配線のマーキングを行い、お客様への納入品にも役立てていきたいと思えます。

また、これまでは簡易的なラベルテープをケーブルに巻いて使用していましたが、時間が経つにつれ、はがれてきてしまうことがあり困っていました。

今回の取材を機にラップアラウンドテープを紹介してもらい、PVCチューブ以外のメディアについて、使用方法や調整方法などを聞くことができたので、今後は使用する箇所によってメディアを変更するなど、MK3000の活用を広げていきたいと思えます。



ヒーター付きポラスチャック



MK3000



株式会社吉岡精工  
左:常務取締役 加藤 誠司 氏  
右:テクニカルマネージャー 熊谷 正彦 氏



# 現場の課題に応えるために。

マークチューブ・マーカラベル・記名板のマーキングなら  
**MK5000/MK3000**

**CABLE ID PRINTER**



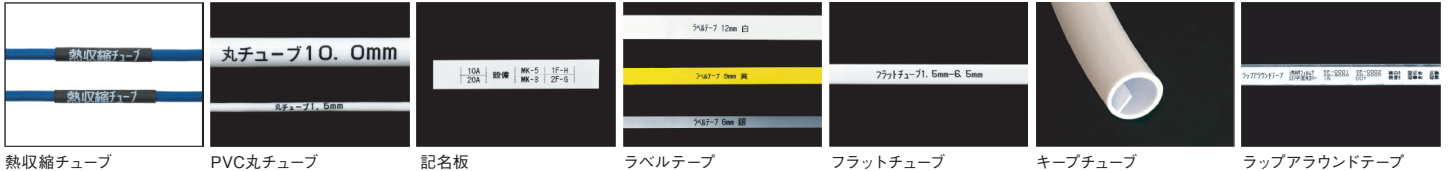
ケーブルIDプリンターのことがよくわかる!動画コンテンツ集はこちら



MK3000

## これまでに対応できなかったさまざまなメディアに対応

記名板(MK5000のみ)、PVC・熱収チューブなら内径φ1.5~10mmまで対応。フラットチューブ(内径φ1.5~6.5mm)や、透明フィルムで印字面をカバーできるラップアラウンドテープも印字可能に。\*1\*\*2\*\*3



熱収縮チューブ PVC丸チューブ 記名板 ラベルテープ フラットチューブ ケーブチューブ ラップアラウンドテープ

## 電源がない場所でも作業できる

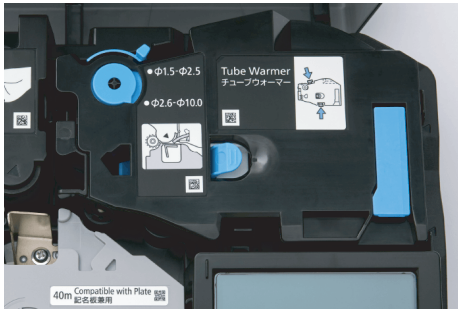
充電電池(eneloopスタンダード単3形×6本)に対応。電源のない場所での作業もスムーズに。電源を探す必要はもうありません。



●エネルーブおよびeneloopはパナソニックグループの登録商標です。

## 低温環境でも電源の心配なく印字できる

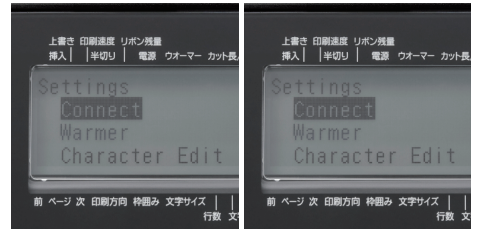
寒い環境下での印刷を支える、チューブウォーマーがeneloopで駆動。電源のない現場での作業をサポートします。\*4



●チューブウォーマー使用時は5℃~15℃の低温時でもご使用できますが、チューブの状態によっては画像の不具合が発生する可能性があります。  
●エネルーブおよびeneloopはパナソニックグループの登録商標です。

## 日英バイリンガル切替表示機能を搭載

日本語と英語2つの言語を切り替えられる「日英切替モード」を搭載。現場のグローバル化に対応できます。



※1 記名板・フラットチューブアタッチメントはオプション品。※2 記名板に印字可能なのは、MK5000のみ。その他、印字可能なメディアは、製品仕様欄にてご確認願います。※3 ラップアラウンドテープの対応ケーブル外径: φ3mm~φ7.6mm(4mm全角/1行/枠なしの場合)。\*文字サイズ、行数、印刷位置(高さ)、枠の設定によっては印刷部にラミネートシールが十分に重ならない場合があります。※4 チューブウォーマーはオプション品です。

●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2023年12月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



キヤノン ホームページ

[canon.jp/business](https://www.canon.jp/business)

キヤノン 導入事例一覧

[canon.jp/business/case](https://www.canon.jp/business/case)

**Canon** キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER

●お求めは信用のある当社で

2023年12月現在